

「6日間で変わった私」 Cさん

私は7月に行われたシンガポールグローバルリーダー育成研修に参加しました。私がこの研修に参加した理由は3つあります。1つ目は、将来少しでも世界と関わってみたいと思っており、海外で生まれたこともあって外国に興味があったから。2つ目は、視野を広げたいと思ったから。シンガポールについて知れば日本との違いなどが分かって、日本について新しい見方ができるのではないかと、もっとよく分かるのではないかと考えたから。3つ目は、SDGs についても興味があって、解決するために自分にできることを見つけたかったから。です。そして実際に、この研修を通して私はたくさんのことを学び、経験し、新しいことを知ったり、自分の考えが変化したりしました。これからその中でも私の印象に残っているいくつかについて書きたいと思います。

まず、SDGs についてです。NUS での SDGs の授業で、SDGs は全て繋がっているということを知りました。例えば、「1、貧困をなくそう」を解決すれば食べ物を買うお金があるので「2、飢餓をゼロ」への解決にも繋がります。今まで私は 2030 年までに本当に SDGs を解決できるのかと不安に思っていました。しかし、今回 SDGs は繋がっているということを知って1つ解決すれば他の問題の解決にも近づくので、1つ1つ解決していけば、きっと全部達成できると思えるようになりました。まずは毎日少しずつ節電したり、買い物の時はマイバッグを持参したりするなど、自分に出来ることを少しずつ続けて行きたいです。みんなが少しずつ頑張れば1つずつ問題を解決して、他の問題も次々と解決出来るはずですよ。

次に、研修中に苦労した英語についてです。私は研修に行くまでは、正直自分の英語に自信がありました。英検2級も取れたし、定期テストの点数も上がったしきっと外国でも大丈夫だろうと思っていました。でもそれは間違いでした。まず、知っている単語の量が少なすぎました。先生やグループリーダーが喋っていて知らない単語が出てくるとその後の話に全くついていけなくなってしまいます。もちろん、初めて聞いたけど何とか聞き取れた単語は意味を聞いてみましたが、そもそも聞き取れなかった単語も多かったです。また、実際に英語で話そうとすると文法などが全然身についていないことを実感させられました。テストでは考える時間が与えられますが、会話ではそんな時間はありません。伝えたいことをパッと英語にして言わないといけなくて、難しかったです。そして、英語ができないせいで言いたいこと、聞いてみたいことがあっても、これで合っているかな、失礼な言い方になってないかなと不安になってしまいなかなか話しかけることができませんでした。でもこの問題については、前の2つと違ってすぐに解決できると2日目に気づいたので、それ以降は間違ってもいいから聞きたいことがあったらとにかく話しかけてみるということ意識して研修に臨みました。すると、文法はぐちゃぐちゃだったかもしれませんが、言いたいことは伝えることができたみたいで、楽しく会話できるようになりました。このことは帰国した後の私にも変化をもたらしてくれました。以前の私は、お店で店員さんや係の人に質問するのが何となく恥ずかしくて苦手だったのですが、研修後は、英語でも何とか会話出来たし、日本語が通じるから大丈夫と思えるようになって、質問したり話しかけたりできるようになりました。

今回の研修で、自分の英語はまだまだだということに気づいたので、もっと英語を勉強したいと感じました。まずは英検準1級合格を目指して毎日10単語覚えるところから始めたいと思います。

それから、リーダーシップについてです。研修の途中、私の自信はすっかり失われてしまいました。周りには自分より英語ができる人がたくさんいて、自分より深く問題について考えられる人がいる。自分

より何倍もすごい人がいる。私にリーダーなんて無理なんじゃないかな、何度もそう思いました。でも、研修の後半の2つの話が私もリーダーできるかもしれないと希望を持たせてくれたのです。1つ目はNUSのリーダーシップについての授業で学んだ、リーダーには front、middle、back の3つのタイプがあるということです。自ら動くリーダー、リーダーと他の人を繋ぐリーダー、後ろから指示を出すリーダーなど、それぞれに特徴があり、メリットデメリットがあります。リーダーにも色々な形があるということを知りました。2つ目はゲストスピーカーの方の「リーダーは他人より優秀である必要はありません。どれだけ自分より優秀な人を周りにおけるかが大事。そのためには信頼を得ることが必要です。」という言葉です。私はリーダーというのは誰よりも優秀だからみんなに慕われるのだと思っていたので、衝撃を受けました。リーダーの在り方は1つではないし、優秀でないとリーダーになれないこともない。それなら、もしかしたら私に向いているリーダーの形があるかもしれない、私でもリーダーになれるかもしれないと考えられるようになりました。

そして、視野についてです。私は研修中、シンガポールにも日本のものがたくさんある、知られているということに気づきました。シャトレゼやスシロー、ドン・キホーテなどの日本のお店があり、鬼滅の刃や進撃の巨人、僕のヒーローアカデミアといったアニメもかなり知られているようでした。これまで私は「今の日本はダメだ」「輸入が輸出を超えていて…」「日本は弱い」という言葉を何度も聞いてきたので、日本という国はそんなにダメなのかと思っていました。でも、アジアの中でも発展して注目されているシンガポールでこんなにも日本のものがある、通用していることを知って、日本は全然ダメじゃないと知りました。とても嬉しかったし、日本に誇りをもてるようになりました。他の国を知ったことで日本に対して違った見方をできるようになりました。

私はこの6日間は、今まで自分が持っていた何かを一度ぶっ壊されて、次の瞬間には前とはちょっと違う新しいものに作り直されているようなことの繰り返しだったと感じました。不安だった気持ちは明るくなり、一度は失った自信は新しい希望に変わり、ダメだと思っていたものが本当はすごかったのだと知りました。難しかったこと、悩んだこと、驚いたこと、楽しかったこと、全てが新しい自分に繋がっていました。しかし、この研修で変化できたからOKで終わってはいけないと思います。この研修で知ったこと、学んだこと、気づいたこと、変わったことを忘れずに、これからもどんどん自分をリニューアルしながら生きていきたいです。それから、今回の研修を通して私はより海外に興味を持ちました。研修中のプレゼンでも発表した私の夢「海外の色々な国に行ってたくさんの人と関わりたい」を叶えられるように努力していきます。